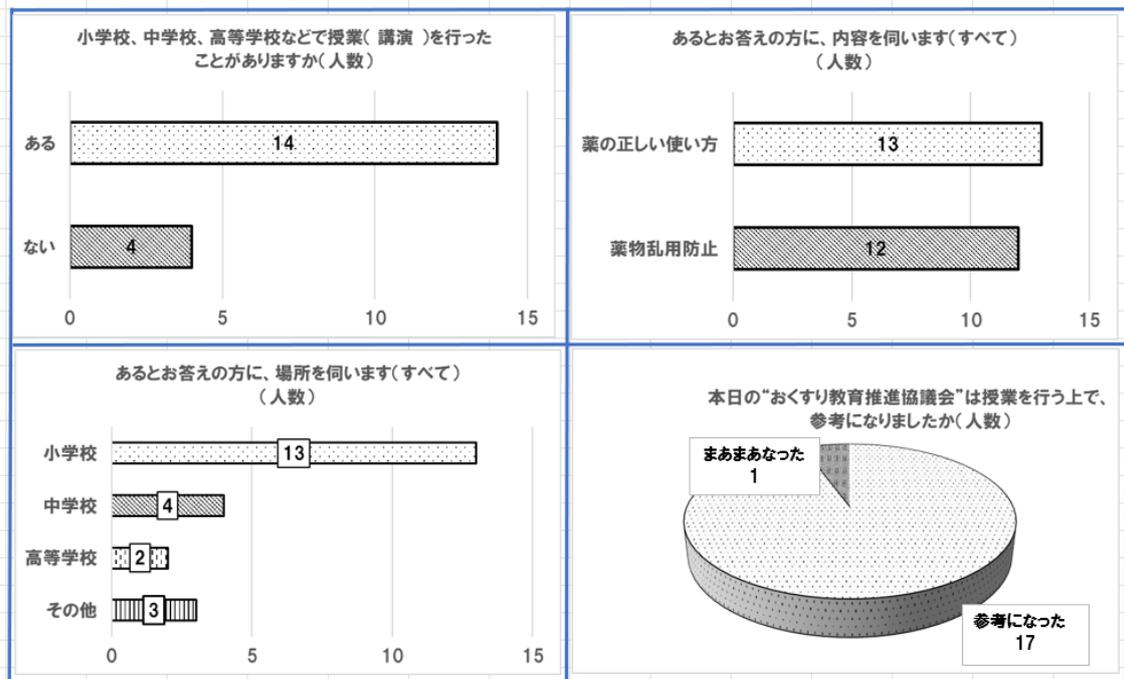


おくすり教育推進協議会(11)(2024/06/29) 参加者51名 アンケート18名



## アンケート・記述

### 内容・構成に関する希望

- ・リモート開催が良いです。
- ・リアルで小平まで行くのは少し厳しい状況なのでリモートは参加しやすいのでありがたいです。
- ・時間的にリモート開催にさせていただけるとうれしいです。
- ・再発信できないか。
- ・情報を得るとい点ではリモートはよいのですが、ちょっとした疑問やアイデアは話にくいですね。小さな意見交換には対面がうれしいです。両立は難しいですね。たまには対面も…
- ・実際授業している方の例・経験談を、また聞きたいです。
- ・実際にされたそのままをしていただくと1歩が踏み出しやすいのかと思います。
- ・時間の制約もあるなか、効果的な方法があれば・是非とも事例をお聞かせ下されば嬉しいです。
- ・一方通行にならない話の工夫の仕方を聞きたいです
- ・最新の話題をわかりやすく話していただけるのはとても助かります。

- ・オーバードーズの件はこれからの授業中に取り入れていかなければならないので現状に合うスライドがあれば良いと感じています。
- ・養護の先生からは学校のカリキュラムの関係でなかなかおくり授業の時間は取れないと言われてしまったので、その辺りどのようにアプローチしているのかなどもお聞きしたいです。
- ・オーバードーズ、大麻等現場で対応するときはどうするか、表現一つにしても気を遣うので、色々教えてください。
- ・船田先生のように、薬物についての日本や海外のトピックスの講義を、これからもお願いしたいと思います。

## 意見・感想

- ・座談会の聞き取りが聞こえなく残念でしたが、面白い企画だと思いました。
- ・ディスカッションはとてもいいとおもうのですが、場所の影響？でとても内容が聞こえにくく難しかったです
- ・ZOOMは座談会の声が聞こえにくく、内容が伝わりにくい時間がありました。
- ・特によく話しをしていた加藤先生の意見が聞けなかったことが残念でした。(福田先生の声は良く聞こえました)
- ・実際に対面での会話はいつものリモートとは違い、緊張しましたが、とても内容は参考になりました。
- ・ミュートは徹底した方が良かったと思います。・デフォルトでミュートにさせていただけると助かります。
- ・市内だけでなく、他地域の薬剤師の方のお話もお聞きでき、参考になりました。
- ・オーバードーズを意識したような中学生向けの授業の提案が欲しい。

・加藤先生のODに関する箇所。正しい知識を伝えることはもちろんですが、ODをせざる得ない状況、環境、心のもっていきかた・・・子ども達の取り巻く環境にも心をむけてのお話。本当にその通りだと思い、薬剤師からだけではなく、様々な大人の役割、関わりにもかかわっていく大切さを感じます。

どのように、伝えていくか・・・先生のお話を参考にさせて頂き、今後も試みていきたいです。今回、参加させて頂いて、学校に訪問したとき、色々な話をしていきたいと思いました。オーバードーズ、大麻等現場で対応するときはどうするか、表現一つにしても気を遣うので色々教えてください。

- ・中野区では令和5年に福田先生を講師にお呼びして研修会を開催しました。その時に福田先生が「初めて薬物乱用防止教室の授業をやるのは資料があってもハードル

が高い」と話して頂き15年もやっていた自分はハードルが高いことに気づいていないことに気が付きました。さっそく令和5年度は薬物乱用教室の授業をやっている先生と共同して3回ほど中野区の学薬の先生に授業を見学してもらいました。(合計7名ほどの会員に見てもらい実習中で学生を連れてきた先生もいました)  
これが良かったみたいで「自分だったら出来そうだった」、「具体的なイメージがついた」など意見がありました。

・薬物専門講師を持っていることから、東京都薬剤師会経由で、近隣学校の薬物乱用防止教室の講師の依頼があります。学校でご担当される先生のお話を伺うと「今年は何をしよう」と苦慮されて、講師派遣依頼先として東京都薬剤師会をネット上で見つけ、依頼をされることが多いようです。高等学校ではスポーツ(オリンピック等)と薬物の関連について学ぶようになってきていますが、小学校・中学校の場合は、担当の先生に一任されている印象です。学校薬剤師として担当している学校では、毎年薬物乱用防止教室を行い、すでに10年以上が経過しており、養護教諭、副校長、校長先生が異動しても、実施について引継ぎが行われています。市内の他校については、担当教諭の異動後の対応はまちまちです。運用についての明確な基準がないこと、この単元の実施については担当教諭の考え方に由来することが、大きな理由と考えています。

・他地区の先生方の前向きな取り組みを聞かせていただき、参考になりました。私自身は頼まれれば拒まず、で実施しておりますが、自身の担当の高校、小学校も担当校が変わり新しい学校、コンタクトを試みますが、なかなか思うようにはいきません。1年に1回という機会の確保、その必要性、私ではなくてはならない必要性を感じず、会の会長、調整役に徹しています。